

「私たちの役割と課題～本日の講演を受けて」

グループ討議まとめ

- A** 協議のテーマ 「学校経営の参画について」
- ・ 初任でもできる学校経営・・・ボーナスの成績率を事務が提示（校長の仕事を事務が行う）
 - ・ 各校で事務が責任を持って行っていること
 - 教科書・学籍・就学援助・文書取扱い・学校徴収金・給食費
 - ・ 企画会議の参画について・・・* 属人によるところが多い
 - * 予算に関わるのが少ないので強みが出せない
 - * 情報を入手することが大切
 - 児童指導委員会に参画すると情報が入ってきて良い
- ☆ 情報を知ることから事務の強みを発揮していく
- B** 協議のテーマ 「事務連携について」
- ・ 学校により仕事の範囲が違う・・・事務連携で何をどうしていくのか
 - ・ 事務職の立場として責任や調整力が必要・・・足元を固めることも大切
 - ・ 新採用等のいる地域は育成サポート中心
 - 療休、育休等での急な欠員が出た学校へのサポート
 - ・ 事務連携の記録を作成し各校管理職に文書として送付
 - 事務便りを出し全職員にアピール
- C** 協議のテーマ 「つかさどるとは」
- ・ 今までやってきた仕事の中にも『つかさどる』はある
 - 実態としては『つかさどる』だった仕事もある
 - ・ 学校徴収金や給食費などの今までやっていなかった事務に新たに取り組んでいくのか
今までやっていた仕事を深化していくのか
 - ・ 根本にある仕事
 - ・ 市の規則と国の法令とのギャップ・・・現場の意識
 - ・ 『つかさどる』を教職員にアピールし管理職を味方につける必要がある
 - ・ それぞれのレベル（若手～ベテラン）での『つかさどる』
 - 若手ができる『つかさどる』とベテランができる『つかさどる』

D 協議のテーマ 「つかさどるが求められるもの」

- 子どもをこう育てたいという気持ちを持って限界をとっばらえたのではないか
→ どこまでが事務の仕事とかではなく
 - 判断をすること
→ 判断するために学校の経営計画を読む
 - 可能性が膨らんだ
 - 不安半分やりがい半分・・・まっさらな状態なので楽しみな思いがある
- ☆ 他地区の方々の前向きな気持ちを情報交換出来てよかった
→ それぞれ持って帰って頑張りたい

E 協議のテーマ 「共同実施について」

- 初任者のフォローを主にしている
- 庶務事務システムが入ってチェックができない
→ 予算を適正に処理し経理関係のチェックは月に1回
→ 基本的にOJTが主
→ 総括裁量制・・・HP（学校だより）等で決算公開が義務付けられている
⇒ 先生達が慣れてきたら事務職はいらなくなる？
- チェックが主
→ 学校のための組織にどう変えていけるか
- 課題や悩み、困っていることの話し合いとチェック

F 協議のテーマ 「つかさどるとは」「共同実施について」

- 自分の学校だけでなく対外的な部分でも働きかけを（キャリアに応じて）
→ 新しいことを“楽しい”と感じられるように働き、後輩にその背中を見せていく
 - 学校マネジメントの面で校務分掌の見直しや業務分担の在り方についてアクションを起こす
 - キャリアの違う人たちがどういう役割を担い動かしていくか
→ 全体の総意を取りまとめることが大変で価値観や職業観などの違いからも難しい
⇒ 話し合ってみないと分からないことがたくさんある
- ☆ 全体の意思統一と目指す方向性を揃えられたら可能性が広がっていく
- 事務連携組織が市教委に承認されているメリットとは
→ 責任の所在が明らかで、意見を伝えるパイプにもなり情報伝達がスムーズになる
- ☆ 事務連携の長となる方の質が求められる

G 協議のテーマ 「講演を受けて自分たちができることを考える」

- まずは考えることが大切
 - 今までやっていることを改めて見直してみることの大切さ
 - ⇒ 校務分掌を見直しその中で何ができるかの模索
 - 異動した時にバラつきが無いように共同実施を利用したい
 - 学校の様子を見るために校内巡視と授業観察を行う
 - 地域と連携して修繕を行う
 - ⇒ 学校から市教委への依頼がダメでも、地域からの声で修繕が行われることもある
- ☆ 日々の業務を大切にしながら課題を見つける

H 協議のテーマ 「つかさどる」「共同実施について」

- つかさどる前に世代交代の波がきている
 - まずは足元を固めることから
- 教育委員会や管理職へ理解してもらうにはどのように周知していくか
- これからはリーダーシップを取っていき、つなぐ役割も担う
- 若手は研修や研究を頑張る
- 今までの積み重ねで一度には変わらない
 - ベテランが頑張っていて変えていく（改革していくには良い機会）
- PTA役員として地域との関わりを多く持つ
- 共同実施はブロックのメンバーの偏りがある
- 事務同士のサポートだったものから学校運営にどう関わっていけるか
- 地域によって温度差がある

I 協議のテーマ 「つかさどるとは」

- 周囲の認識は変わっている気がしない
- 教員の仕事を全てそのまま肩代わりするのではない
 - 仕事の効率化、業務改善へのアドバイスや提案ができるということが求められる
- 日々の業務の中で課題を見つけ改善への提案をする
- 財務の裁量権拡大
 - 専門性をだせるか・・・費用対効果に興味があるのは事務だけ
- コミュニケーションの重要性
- 事務として求められる事は何かを考える